

個別事業名	(6) 妊娠・出産への理解を深めるための男性に対する知識の啓発																																																			
事業の趣旨・目的	<p>○本県は、10代の人工妊娠中絶を含め、望まない妊娠の結果である人工妊娠中絶率が全国平均より高く推移するとともに、10代の性感染症の罹患が増加傾向にあり、思春期の性に関する相談に対応する「思春期相談センター」に寄せられる相談も増加する中、近年特に、男子生徒からの相談が急増し、全体の8割以上を占めている。</p> <p>○また、妊娠中の女性の就業率が全国に比べて高い中、妻が妊娠期の夫及び子どもが4カ月時の夫の喫煙率が全国平均より高く、育児参加の面でも、本年の県民世論調査において女性が働く際の課題を尋ねたところ、30代の37.1%が「男性が家事子育てを手伝わない」（第2位）と回答している。</p> <p>○人工妊娠中絶は女性の身体と心に少なからず影響を及ぼし、中絶を繰り返せば出産時の胎盤の癒着や不妊の原因となる場合もある。また、性行為により感染する、女性のクラミジア感染症と不妊の関連が明らかになっており、思春期の女性のみならず男性が、女性の身体や機能についての理解を深めることが必要である。</p> <p>○さらに本県では、早産の割合が6.4%、低出生体重児の出生割合が11.2%と全国に比較して高く推移しており、県独自の早産防止対策や医療対策、予防対策などに取り組んでいるが、こうした状況の発生要因の一つともなり得る男性の禁煙行動や家事・育児協力にも、改善の余地が残される状況にある。</p> <p>○このため、まずは思春期の男子生徒を対象に、思春期相談センターへの男子生徒の相談内容等を把握・分析し、本県の課題に応じた効果的な啓発内容を検討会で検討したうえで、性に関する正しい知識に止まらず、不妊の知識や日常生活での留意点なども含めたハンドブックを作成し、高等学校をはじめ中学校で活用するなど、啓発の強化に取り組む。</p> <p>○併せて、妊娠中の女性のパートナーに対しても、妊娠・出産に関する知識を情報提供し、妊婦の負担を軽減するための配慮や育児参加などを促すことを目的に、両親学級などでも活用できるリーフレットを作成し、妊娠期からの父性意識の啓発を図る。</p> <p>◆高知県における10代の人工妊娠中絶率の推移</p> <table border="1" data-bbox="583 1202 1392 1323"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高知県</td> <td>10.1</td> <td>10.8</td> <td>11.5</td> <td>10.3</td> <td>10.0</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>7.8</td> <td>7.6</td> <td>7.1</td> <td>7.0</td> <td>7.1</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>ワースト4位</p> <p>◆夫の喫煙状況</p> <table border="1" data-bbox="531 1427 1577 1573"> <thead> <tr> <th colspan="6">〈健やか親子21最終報告書より抜粋〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">◇妊娠中の夫の喫煙と本数</td> </tr> <tr> <td>喫煙あり</td> <td>高知県：44.6%</td> <td>全国：41.8%</td> <td>1日11本以上</td> <td>高知県：48.6%</td> <td>全国：37.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="6">◇児が4か月時の夫の喫煙と本数</td> </tr> <tr> <td>喫煙あり</td> <td>高知県：47.1%</td> <td>全国：41.5%</td> <td>1日11本以上</td> <td>高知県：51.4%</td> <td>全国：37.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な事業内容】</p> <p>①男子生徒への啓発活動（男子生徒版思春期ハンドブックの作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期相談センターへの相談内容をもとに、男子生徒への性に関する知識と、自らの保健行動を培うために、効果的な啓発内容を検討する検討会を開催 ・検討会での検討内容を集約し、ハンドブックを作成 ・高等学校及び中学校等での活用による啓発 <p>②パートナーへの妊娠・出産の知識啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙が妊婦や胎児に与える影響や、妊婦の早産予防のために必要な手助けなど、本県の課題を踏まえ、妊娠・出産に関する情報提供や父性意識の啓発を行うリーフレットを作成 ・母子健康手帳と併せた配布のほか、市町村の両親学級などでの活用も依頼し、啓発を促進する 		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	高知県	10.1	10.8	11.5	10.3	10.0	9.2	全国	7.8	7.6	7.1	7.0	7.1	7.0	〈健やか親子21最終報告書より抜粋〉						◇妊娠中の夫の喫煙と本数						喫煙あり	高知県：44.6%	全国：41.8%	1日11本以上	高知県：48.6%	全国：37.0%	◇児が4か月時の夫の喫煙と本数						喫煙あり	高知県：47.1%	全国：41.5%	1日11本以上	高知県：51.4%	全国：37.4%
	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度																																														
高知県	10.1	10.8	11.5	10.3	10.0	9.2																																														
全国	7.8	7.6	7.1	7.0	7.1	7.0																																														
〈健やか親子21最終報告書より抜粋〉																																																				
◇妊娠中の夫の喫煙と本数																																																				
喫煙あり	高知県：44.6%	全国：41.8%	1日11本以上	高知県：48.6%	全国：37.0%																																															
◇児が4か月時の夫の喫煙と本数																																																				
喫煙あり	高知県：47.1%	全国：41.5%	1日11本以上	高知県：51.4%	全国：37.4%																																															
先 駆 性	<p>妊娠・出産に関する正しい知識の啓発は、多くの自治体が女性向けに取り組んでおり、本県も平成23年度に女子高生等を対象とした思春期ハンドブックを作成し啓発を進めているが、実効性を高めるためには男性への啓発が不可欠であり、特に中高生と、妊産婦の配偶者に着目し、それぞれの時期での課題に対して、男性向けの啓発を図る事業は、全国的にも多くは見られない新たな取り組みである。</p> <p>さらに、男子生徒に対しては、本県が平成15年に全国の自治体で初めて設置した「思春期相談センター」に寄せられる男子生徒の相談・悩みの内容を分析し啓発に活かすなど、独自の工夫を取り入れるものである。</p> <p>併せて、妊婦の配偶者等のパートナーに対しても、喫煙行動や早産防止に向けた家事等の手助けなど、妊娠期から出産期までに本県の男性が特に注意喚起すべき内容などに重点を置き、一般的なイクメン啓発事業とは一線を画す内容を盛り込む。</p>																																																			
所 要 見 込 額	1,002,000 円																																																			